		会計	1 一般会計			総合計画	i向性 3 人と人がつな:	がり、安全で美しさと便利さか	が共存する持続可能なまちをつくる	5						
事業名		予款	8 消防費			まちづくり	战略 (4) 安全への備	えと災害時の対応強化	É	市長公約						
		算 項	1 消防費			消防部根拠計画	十画			山及五州						
担当課	消防本部 消防総務課·救急課 内線 2119	目	1 常備消防費			12,241.1										
1.事業(の目的・概要(Plan)										総合計	計画等 主な指標		H30実績	H31実績	R6目標
目的	・市民生活の安全を確保するため、消防体制の充実や関係機関との連・119番通報に対する迅速・的確な対応を行い、市民の生活と生命・財産			k部の運営、関 も消防指令シス		車絡・調整、大野郡白川: 占検	村の消防事務の受託			「消防・救急	急体制が整っ	ている」と感じている市	民の割合	82.6%	78.0%	7
ماله عليه												Adm 600 _ 10				
2. 事業(の実施結果等(Do)			1100			111	14	(千円)	4. 令和		算編成(Action		.क. कर		(千月
	歳出事業費		最終予算	H30	算 (a)	当初予算(c)	H: 最終予算	31 決算 (b)	増減 (b)-(a)	亜;	R2予 求額	⁷ 异 財務部査定額	実施計			169,36 (d)-(c)
	(職員人件費を除く)		129,8		126,297	145,823	145,823	140,270		X	181,619	169,369		169,369	78 // V	23,54
	国費()											İ			
特定財源	県費 (県移譲事務交付金)	1,1	33	925	909	909	596	△ 329		593	584		584		Δ 32
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金等)	18,0	68	19,330	21,156	21,156	20,901	1,571		15,380	16,090		16,090		△ 5,06
一般財	源		110,6	12	106,042	123,758	123,758	118,773	12,731		165,646	152,695	1	152,695		28,93
個票枝番	主な事業内容									查》	定額		説明	明		
	消防本部の運営		116,4	93	115,312	117,973	117,973	115,807	495		128,049					
	AED(自動体外式除細動器)の屋外設置、維持管理		13,0	00	10,808	27,520	27,520	24,306	13,498		37,860					
	緊急通報の多言語対応化(消防多言語通訳コールセンター)		3.	20	177	330	330	157	△ 20		330					
	言語、聴覚障がい者向け緊急通報システムの導入								i		3,130					
									i							
									1							
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合が	があります。				<u> </u>				※入札に影響	響するため公開に	に適さないなど、記載省略(※)する場合が	あります。		
	30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施 ・火災出動 20件、救急出動 4,138件、救助出動 38件(平成30年中)・消防署等施設及予認信指令装置等の保守点後、維持管理を行った。		•		·火災出動 ·消防署等	事業実績、評価: 25件、救急出動 4,205 施設及び通信指令装置:	件、救助出動 30件(平 等の保守点検、維持管	成31年1月~令和元年 里を行った。	至12月中)	予算要求	·AED(自動	方指令システムによる消体外式除細動器)の屋	屋外設置に必要	要な経費を		=
争未失模	- 緊急通報の多言語対応を行った。 災害対応24件(延べ41回) ・筋災へリコプターの飛騨地域常駐化に向けた県への継続要望を行った ・AEDを屋外に設置した。(移設32施設、新設20施設)	5.		争未关模	防災ヘリコ	の多言語対応を行った。 コプターの飛騨地域常駐 外に設置した。(移設35)	化に向けた県への継続			ポイント	•緊急通報シ	vステムの運用に必要 ^を	닻経費を計上			
	・施設の適正な維持管理、関係機関との連携強化により、消防体制の充	*宝が図られた			・施設の流	正な維持管理、関係機関	シの連集命ルに Fill i	当防休制の充実が図ら								
評価等	・施設の過止は種科音生、関係機能との建物強化により、有的体制の力・高機能消防指令システムの効率的な運用及び多言語対応により、119 応が図られた。 - AEDを屋外に設置したことで、いつでも誰もがAEDを使用できる環境を	番通報に対する	できた。	評価等	・高機能消応が図られ	防指令システムの効率的	的な運用及び多言語対	さにより、119番通報に	対する迅速・的確な対	財務部 査定の 考え方	•積算内容の	D精査				
次年度 以降の 考え方 (担当課)	・救急・消防隊の適切な運用により、市民の安全安心を確保する。 ・AEDを屋外に適切に設置する。		維持·改善 拡大 縮小 廃止検討 H30完了 H31完了予定	次年度以降の考え方(担当課)		方隊の適切な運用により. ↑に適切に設置する。(숙		呆する 。	☑ 維持·改善□ 拡大□ 縮小□ 廃止検討□ H31完了□ R2完了予定	市長査定の考え方	•財務部査定	をのとおり				

事業シ	/一ト(平成31年度決算)							42_消防本部	邪_2									
		1	会計	1 一般会計				総合計画	性 3 人と人がつなた	パり、安全で美しさと便利さた	が共存する持続可能なまちをつく	3						
事業名	81110 消防署運営事業費	,	款	8 消防費			ľ	まちづくり戦闘	1.0	えと災害時の対応強化	<mark></mark>	市長公約						
		算	項	1 消防費				消防計画 根拠計画	1			印度公孙						
担当課	消防本部 消防総務課 内線 2119		目	1 常備消防費	Ě			INCHI II										
1.事業(の目的•概要(Plan)												総合計画	画等 主な指標	H30実	漬 H3	1実績	R6目標
																\perp		
目的	・地域の防災拠点である消防施設の災害時に即応できる体制を常に の適正な維持管理を行う。	整え、機械	器具等	概要·消防	庁舎	(本署1、分署3、と	出張所4)	や機械器具の維持管理(白川出張所は白川村	†から消防事務を受託								
2.事業((千円)	4.令和2	年度予算	[編成(Action))		<u> </u>	(千円
					Н	30			H3	1			R2予算		実施計画額			27,270
	歳出事業費 (職員人件費を除く)			最終予算		決算 (a)		当初予算(c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	要求	額	財務部査定額	市長査定額(d)		増減(d)-(c)
				27,	223	25	,998	28,210	28,196	25,763	△ 235		26,540	27,270	27,2	10		△ 940
** ** **	国費()									!				+		
特定財源	県費 ()	2	059	2	,090	2,037	2,037	2,021	△ 69	i	1,881	2,027	2,02	7		Δ 10
一般財			,		164		,908	26,173	26,159	23,742			24,659	25,243	25,24	_		△ 930
個票枝番	主な事業内容			20,	101	20	,000	20,170	20,100	20,742	2 100	】		20,240	説明			<u> </u>
	消防署の維持管理			27,	223	25	,988	28,210	28,196	25,763	△ 225		27,270					
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合	おがあります。	0									※入札に影響す	するため公開に	適さないなど、記載省略(%	※)する場合があります。			
3.平成3	30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施				ı İ.	5.平成31年	<u> </u>	·業実績、評価等	(Check) R2	.8 <u>実施</u>	+							
事業実績	・消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理を実施し・各署所の施設修繕を行った。(高圧気中開閉器(AOG)取替(大野)、署)、漏水修繕(清見)等)		由面制御村	機器取替(本		事業実績 · 各署	書所の施	本署1. 分署3、出張所4)々 設修繕を行った。(仮眠3 (大野)等)			修繕(荘川)、ガス配管	担当課予算要求・ポイント	- 消防署(分署	・出張所を含む〉の維	持管理に必要な経	費を計亅	Ł	
													•	_				
評価等	・施設・設備の適正な維持管理により、消防体制の充実が図られた。					評価等・施言	役∙設備の	の適正な維持管理により、	消防体制の充実が原	図られた。		財務部査定の・考え方	・積算内容の	精査				
次年度 以降の 考え方 (担当課)	・各署所における施設や設備の不具合を早期に発見し、効率的な運用め、修繕費等の抑制に繋げる。	用等を進						iける施設や設備の不具名 手の抑制に繋げる。	合を早期に発見し、効	率的な運用等を進	✓ 維持·改善/ 拡大/ 縮小/ 廃止検討/ H31完了/ R2完了予定	市長査定の考え方	•財務部査定	のとおり				

事 栗シ	·一ト(平成31年度決算)						42_泪防~	8_464							
		会計	1 一般会計	it .			総合計画	うう 人と人がつな	いり、安全で美しさと便利され	が共存する持続可能なまちをつく	5				
事業名	81120 予防事業費	予款	8 消防費				まちづくり草	1.17	備えと災害時の対応強化	Ł	市長公約				
		算 項	1 消防費				消防記載機製計画	+画			印及公的				
担当課	消防本部 予防課 内線 2118	目	1 常備消	防費			IXIX.II II								
1.事業(の目的・概要(Plan)											総合計	十画等 主な指標	H30実績	H31実績 R6目標
	・市民生活の安全を守るため、火災予防対策や啓発活動の実施等に、	より、防火意識	D	坊火対象	物や危険物	施設等の立	入検査や講習会等を実	施する。							
目的	高揚や防火知識の普及を図る。	0.71/0771/0100					の啓発活動を実施する								
2 車業((千円)	4 今和2	2年度予	算編成(Action)	(千円
<u> </u>				H	130			H	131	(111)	т. јачи	R2予		実施計画額	1.035
	歳出事業費		最終予	算	決算	[(a)	当初予算(c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	要羽	求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
	(職員人件費を除く)			1,030		1,007	1,030	1,030	1,023	16		1,026	1,035	1,035	į
	国費(,													
**				1 000		1 007	1 020	1.020	1 000	16		1.000	1.025	1.025	
特定財源	県費 (県移譲事務交付金	-		1,030		1,007	1,030	1,030	1,023	16		1,026	1,035	1,035	
	その他(
一般財	源			0		0	0	0	0	0		0	0	0	(
個票枝番	主な事業内容										查知	定額		説明	
	火災予防対策			1,030		1,007	1,030	1,030	1,023	16		1,035			
										- i					
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合	かあります。									※入札に影響	響するため公開	に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。	
3.平成3	30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施		\downarrow	1	5.平成3	31年度	事業実績、評価等	等(Check) Ra	2.8実施	. ↓ :					
	・立入検査計画(年度)の作成・実施・違反是正、未把握防火対象物の行った。(目標値912件、実施966件、特定防火対象物の重大違反5件・防火管理講習の企画運営・受講促進を行った。(甲種防火管理新規防火管理再講習、開催1回、受講18名)・春季・秋季火災予防運動、文化財防火デー、危険物安全週間等実施育園児、人力車等協力による火災予防啓発活動4回、文化財防火デー件、危険物施設立入検査228施設)・住宅用火災警報器設置対策実施計画に基づく広報・個別訪問等を多率:92.196、個別訪問指導:463件)	全ての是正を行 見講習:開催2回 も計画の作成・9 一訓練11件、対	テった。) 受講121名、甲科 R施を行った。(代 象物合同訓練21	重	事業実績	行った。(1 ・防火を理 105名・・防火を ・春子・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・	年度計画の作成·実施·; 力入検査:目標値879件、 講習の企画運営·受講体 種防火管理再講習:開催 步火災予防運動、文化財 が火等の間別及び人力車 10件 危険物安全週間 災警報器設置対策実施 8%、個別訪問指導:495	実施914件 非特定防 進を行った。(甲種防 旧の、受講16名) 防火デー、危険物安全 協力による火災予防啓 立入検査207件) 計画に基づく広報・個別 件)	以対象物の重大違反36 大)管理新規講習。開催	0件中20件是正) 2回、目標100名、受講 成・実施を行った。(火 司訓練12件、文化財防 (住宅用火災警報器	担当課予算要求ポイント	費を計上 ・火災予防の	の啓発等に必要な経費	是正)に対する知識・技 を計上 ために必要な経費を計	
評価等	・立入検査は目標値を上回っており、特定防火対象物の重大違反5件 ・防火管理講習は目標値以上の受講者があり、防火管理者未選任違・各予防運動等における実施計画の内容を達成できた。 ・住宅用火災警報器の設置状況は、全国の設置率(81.6%)と比べ高い設置世帯への設置指導と維持管理の啓発を図っていく必要がある。	反の是正が図	わた。	*	評価等	ることから、 ・防火管理 ・新型コロラ 施できた。 ・住宅用火	は目標値を上回っている 更なる指導が必要であ 講習は目標値以上の受 トウイルス感染症の影響 災警報器の設置は、全国 設置指導を図る必要が	る。 講者があることから、阪 により、一部行事を縮 国と比較すると高い設置	方火管理者未選任違反の 小したが、各予防運動等	の減少が図られた。 	財務部査定の考え方	·積算内容6	刀精査		
次年度 以降の 考え方 (担当課)	・立入検査、各予防運動及び防火管理講習は引き続き充実を図る。 ・重大違反対象物に対する違反調査等の適切な運用を図る。 ・複雑多様化する火災原因調査に対応するため、調査員の知識・技術 図る。 ・住宅用火災警報器の未設置世帯への設置、維持管理の啓発を継続	「Fo向上を 「C	2 維持・改善計大計 縮小1 廃止検討1 H30完了		以降の 考え方 (担当課)	・重大違反・複雑多様図る。	、各予防運動及び防火管対象物に対する違反調査 化する火災原因調査に対 災警報器の未設置世帯・	を等の適切な運用を図 対応するため、調査員の]る。 の知識・技術の向上を	☑ 維持·改善 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止検討 □ H31完了	市長査定の考え方	•財務部查算	きのとおり		
		_	,] H31完了予定			八忠郎の信	ଆଷା ଦାସ (ଦ) ତ			□ R2完了予定					
		1					42_消防	本部_3							8112

事 栗シ	/一ト(平成31年度決算)							42_用防本部	_4							
			会計	1 一般会計			総合計画	まちづくりの方向性	生 3 人と人がつな	がり、安全で美しさと便利さか	《共存する持続可能なまちをつく	る				
事業名	81130 警防事業費	予	款	8 消防費			WO D D D D	まちづくり戦略	1 - 2	また災害時の対応強化 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	3	市長公約				
		算	項	1 消防費			根拠計画	消防計画				11.22.413				
担当課	高山消防署 警防課 内線 2117		目	1 常備消防	費											
1.事業(の目的・概要(Plan)												総合	計画等 主な指標	H30実績	H31実績 R6目標
	・消防車両、消防資器材、救助資器材等について、常に最適(良)な状 害時に確実に使用できるようにする。	犬態を維持	寺し、災	_												
目的	・緊急消防援助隊岐阜県大隊としての訓練、近隣消防本部との連携訓	訓練、警察	察及び防			動のスキルアップを に対応するための近				力を強化する。 県大隊訓練の実施によ	り連携強化を図る。					
	災航空隊等との訓練を実施し、災害時の現場対応力を強化する。 ・保有する消防力(人、車両、装備、資器材)を最大限に活用し、災害者	発生時に	おいて							確実な現場活動を実施						
	被害を最小限に食い止める。															
2.事業(の実施結果等(Do)										(千円)	<u>4.令和2</u>	2年度予	算編成(Action)		(千円
	歳出事業費					30				31	III A A A A A A A A A A A A A A A A A A			予算	実施計画額	14,890
	威田争未負 (職員人件費を除く)			最終予算		決算 (a)	当初予算		最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	要才		財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
				15	,170	14,8	5	16,450	16,450	15,879	1,064		15,642	14,890	14,890	△ 1,560
	国費()													
特定財源	県費()													
	その他(白川村受託事業収入)		820	83	37	820	820	812	△ 25		1,293	820	820	(
一般財	源			14	,350	13,9	'8	15,630	15,630	15,067	1,089		14,349	14,070	14,070	△ 1,560
個票枝番	主な事業内容											查定	と額 と額		説明	
	消防車両·装備等維持管理			15	,170	14,8	5	16,450	16,450	15,879	1,064		14 890	消防車両維持管理等		
	11107 10 0000 0 1000 0			- 10	,,,,	1 1,0		10,100	10,100	10,070	1,001		1 1,000	11103 1 1004210 21 2 3		
												i				
												<u> </u>				
												i				
	 ※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合	合がありまっ	す。									※入札に影響	するため公開	」 期に適さないなど、記載省略(シ	※)する場合があります。	
3.平成3	30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施			\downarrow	- 1	5.平成31年月	[事業実績	、評価等((Check) R2	8実施	<u></u>					
					1											
	 ・空気呼吸器用ボンベについては、12本の耐圧検査を実施し、必要な	空気ボン	/ベ数を確	保した。		•空気呼	吸器用ボンベに	ついては、18本	の耐圧検査を実施	⑥し、必要な空気ボンベ	数を確保した。	担当課				
古类中结	・消防車両18台の車検整備等を実施し、安全な車両運行及び火災現場				i.					が火災現場等における 研		予算要求	消防ポン	プ車、救急車及びその他	の車両の維持管理に必	要な経費を計上
事業実績	他した。 ・緊急消防援助隊岐阜県大隊訓練、警察及び県警山岳警備隊、防災	航空隊等	手との訓練	を実施し、連携			防援助隊岐阜県	大隊訓練、警	察及び県警山岳警	備隊、防災航空隊等との	の訓練を実施し、連携	ポイント				
	強化を図った。					強化を図	った。									
					H											
					Н											
]											
	・保有する車両、資器材の維持管理、不具合の早期発見により、大規・た	模な修繕	善費等の発	8生を抑制でき	1	+	る車両、資器材の	の維持管理、不	具合の早期発見!	こより、大規模な修繕費	等の発生を抑制でき					
評価等	・近隣消防本部や警察、緊急消防援助隊等との訓練実施により、現場	易活動の	連携強化	と現場対応力の					隊等との訓練実施	こより、現場活動の連携	・ 強化と現場対応力の	財務部				
	強化を図ることができた。				H	強化を	3ることができた。	,				査定の考え方	積算内容	の精査		
			[7]	維持·改善							☑ 維持·改善					
	 ・消防ポンプ車、救急車及びその他の車両の老朽化による修繕への☆	対応が増			H		、 ≓ * * * * * * * * * * * * * * * * * * *		==+ '#='	Mr 6th (Commission)	□拡大					
次年度 以降の	傾向にあるため、適正に点検修繕等を実施し、災害時には確実に運用			縮小	Ш		ンブ車、救急車』 『用できるよう整		□両を、週正に点検	・修繕し、災害時には	□ 縮小					
考え方 (担当課)	整備する。 ・発生が危惧される特殊災害等に対応できるよう、隊員のスキルアップ	プを図り、	小	廃止検討	H					スキルアップを図り、小	□ 廃止検討	市長査定の考え方	•財務部査	定のとおり		
(担当林)	隊活動レベルの向上と現場対応力の更なる強化を図る。			H30完了	Ш	()三二杯/	・・ハレット川上と巧	ᄬᄱᄱᄱ	ころの当日で四句。		☐ H31完了	3.223				
				H31完了予定	H						□ R2完了予定					

- 救急業務を円滑に遂行すると共に、救急救命士を全ての救急隊に配置し、救急体制 の充実強化を図る。 - 放命講習を通じて応急手当の重要性を理解してもらい、応急手当の実施率の向上を 図る。 - 市民に対して広く救命講習の受講の場を提供する。 - 市民に対して広く救命講習の受講の場を提供する。 - 市民に対して広く救命講習の受講の場を提供する。 - 市民に対して広く救命講習の受講の場を提供する。 - 1 日 1 日 1 日 2 日 2 日 3 日 3 日 3 日 4 1 日 3 日 4 1 日 3 日 4 1	3,2	害時の対応強(えと災害時の対応引 (大算 (b)	(千円	市長	*************************************			H31実績 R6目標
事業名 81140 教急事業費 内線 2117 担当課 高山消防署 救急課 内線 2117 日 1 常備消防費 根拠計画 相機計画 「市長公約 1.事業の目的・概要(Plan) ・救急業務を円滑に遂行すると共に、救急救命士を全ての救急隊に配置し、救急体制の充実強化を図る。・・救急請習を通じて応急手当の重要性を理解してもらい、応急手当の実施率の向上を図る。・・・救急請習を通じて応急手当の重要性を理解してもらい、応急手当の実施率の向上を図る。 ・救急救命士の有資格者の養成及び病院実習を実施する。・・市民に対して広く教命調習の受講の場を提供する。 2.事業の実施結果等(Do) (職員人件費を除く) ・お急救命士の有資格者の養成及び病院実習を実施する。・・市民に対して広く教命調習の受講の場を提供する。 2.事業の実施結果等(Do) (共戸) ・4、令和2年度予算編別を設定し、報表・算 日30 日30 日31 最終予算 決算(a) 日30 日31 最終予算 決算(a) 日30 日31 2.事業の実施結果等(Do) 第2字額 財務(b)-(a)	3,2	決算 (b)	· 決算 (b)			*************************************	算編成(Action <u>)</u>)	(千円
担当課 高山消防署 救急課 内線 2117 日 1 消防費 根拠計画	3,2		決算 (b)			*************************************	算編成(Action <u>)</u>)	(千円
1.事業の目的・概要(Plan) ・教急業務を円滑に遂行すると共に、教急教命士を全ての教急隊に配置し、教急体制の充実強化を図る。 ・教命講習を通じて応急手当の重要性を理解してもらい、応急手当の実施率の向上を図る。 ・教命講習を通じて応急手当の重要性を理解してもらい、応急手当の実施率の向上を図る。	3,2		決算 (b)		4.4	令和2年度予	算編成(Action <u>)</u>)	(千円
自的 ・教急業務を円滑に遂行すると共に、教急教命士を全ての教急隊に配置し、教急体制の充実強化を図る。 ・教命講習を通じて応急手当の重要性を理解してもらい、応急手当の実施率の向上を図る。 ・教命講習を通じて応急手当の重要性を理解してもらい、応急手当の実施率の向上を図る。 ・市民に対して広く教命講習の受講の場を提供する。 ・教急業務を円滑に遂行すると共に、教急教命士を全ての教急隊に配置し、教急体制の充実施率の向上をいる。 ・ ・教急業務を円滑に遂行すると共に、教急教命士を全ての教急隊に配置し、教急体制の表述の支援の場を提供する。 ・ ・教急業務を円滑に遂行すると共に、教急教命士を全ての教急隊に配置し、教急体制の表述の及び病院実習を実施する。 ・ 市民に対して広く教命講習の受講の場を提供する。 ・教急教命士の有資格者の養成及び病院実習を実施する。 ・ 市民に対して広く教命講習の受講の場を提供する。 4.令和2年度予算編月 R2予算 編別 R2予算	3,2		決算 (b)		4.4	令和2年度予	算編成(Action <u>)</u>)	(千円
目的 の充実強化を図る。 ・救命講習を通じて応急手当の重要性を理解してもらい、応急手当の実施率の向上を図る。 概要 ・救急救命士の有資格者の養成及び病院実習を実施する。 ・市民に対して広く救命講習の受講の場を提供する。 2.事業の実施結果等(Do) (千円) 株の実施結果等(Do) (千円) 株の実施結果等(Do) (千円) 株の実施結果等(Do) (千円) 株の実施結果等(Do) (千円) (本令和2年度予算編度 R2予算 (職員人件費を除く)	3,2		決算 (b)		4.4				
目的 の充実強化を図る。 ・救命講習を通じて応急手当の重要性を理解してもらい、応急手当の実施率の向上を図る。 概要 ・救急救命士の有資格者の養成及び病院実習を実施する。 ・市民に対して広く救命講習の受講の場を提供する。 2.事業の実施結果等(Do) (千円) 株の実施結果等(Do) (千円) 株の実施結果等(Do) (千円) 株の実施結果等(Do) (千円) 株の実施結果等(Do) (千円) (本令和2年度予算編度 R2予算 (職員人件費を除く)	3,2		決算 (b)		4.4				
目的 の充実強化を図る。 ・救命講習を通じて応急手当の重要性を理解してもらい、応急手当の実施率の向上を図る。 概要 ・救急救命士の有資格者の養成及び病院実習を実施する。 ・市民に対して広く救命講習の受講の場を提供する。 2.事業の実施結果等(Do) (千円) 株の実施結果等(Do) (千円) 株の実施結果等(Do) (千円) 株の実施結果等(Do) (千円) 株の実施結果等(Do) (千円) (本令和2年度予算編度 R2予算 (職員人件費を除く)	3,2		決算 (b)		4.4				
* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	3,2		決算 (b)		4.4				
2.事業の実施結果等(Do) (千円) 4.令和2年度予算編成 R2予算 編成 B を予算 決算 (b) 増減 (b)-(a) 関係 B を予算 財務	3,2		決算 (b)		4.4				
H30 H31 R2予算 最終予算 決算 (a) 当初予算 (c) 最終予算 決算 (b) 増減 (b)-(a) 要求額 財務 財務 財務 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対	3,2		決算 (b)						
H30 H31 R2予算 最終予算 決算 (a) 当初予算 (c) 最終予算 決算 (b) 増減 (b)-(a) 要求額 財務 財務 財務 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対	3,2		決算 (b)		4. 4				
歳出事業費 (職員人件費を除く) 最終予算 決算 (a) 当初予算 (c) 最終予算 決算 (b) 増減 (b)-(a) 要求額 財務	3,2		決算 (b)	増減 (b)-(a)	H	R2予	5 質	宇体計画類	
(職員人件費を除く)	3,2			増減 (b)-(a)					8,38
8,300 7,870 8,443 8,457 8,264 394 8,167		8,264	8 26		!!		財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
	2 2		0,21	39		8,167	8,387	8,387	△ 5
	2 2								
特定財源 県費 ()	2 2								
その他(白川村受託事業収入、高速救急業務支弁金) 8,300 7,870 8,443 8,443 8,264 394 8,167	ع, د	8,264	8,26	39		8,167	8,387	8,387	△ 50
一般財源		0				0	0	0	(
個票技番 主な事業内容 「 査定額」		_				杏定額		説明	
教急教命の推進等 7,970 7,546 8,113 8,127 7,940 394 8,057 医薬材料	7 C	7 940	7 9/	30.			医薬材料費等	10077	
気管挿管教命士の育成 330 324 330 324 0 330 1名	_	,	•		H	-,			
大日神自秋中工の月成 350 324 550 324 0 1 350 1位	-	324	32	'	li II	330	14		
					li L				
※入札に影響するため公開に適さない					※入*	、札に影響するため公開!	に適さないなど、記載省略()	※)する場合があります。	
3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施 ▼ 5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施 ▼		施	8実施	₩					
					1 40 3		±の再教育履修、必修の)ポイントの取得(病院	実習、研修)に必要な
・新処置認定救命士を9名養成した。 ・新処置認定救命士を9名養成した。 ・新処置認定救命士を9名養成した。 ・新処置認定救命士を9名養成した。 ・新処置認定救命士を9名養成した。								院実習、研修)に必要	な経費を計上
事業実績 ・気管挿管教命士1名を育成した。 ・気管挿管教命士1名を育成した。 ・気管挿管教命士1名を育成した。 ・気管挿管教命士1名を育成した。 ・気管挿管教命士1名を育成した。	での	もによる救命講習	の要請による救命詞	を425回開催し、計	ポイ		肖耗品(除細動バッテリ-	-、ケーブル)の計画的	更新に必要な経費を
・公募による普通救命講習を10回開催、事業所等各種団体からの要請による救命講習を343回開催し、 1 7,499人が救命講習を受講した。						111			
合計5,201人が救命講習を受講した。									
					╽┖				
・救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と薬剤認定救命士、新処置認定救命士の養・救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と薬剤認定救命士、新処置認定救命士の養・救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と薬剤認定救命士、新処置認定救命士の養	ŧ±	認定救命士、新	·薬剤認定救命士、	1.置認定救命士の養					
評価等 成を継続しながら、気管挿管認定教命士についても、養成する必要がある。			る必要がある。			オ務部			
* 教叩講首を加入中氏が支講できるよう開催する必要がある。			0		查定	定定の・積算内容の	の精査		
Ra With ab X				- MH - H	考)	5 7 7			
☑ 維持·改善									
次年度 - 救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と薬剤認定教命士、					l i 🗀				
考え方 場の教命士を養成する。 □ 廃止検討 □ 廃止検討 □ 財務部舎定のとお	D'J	水 ひ 拍 得 的 ユ	・中土及び担保的立				定のとおり		
(担当課) ・教命講習を広く市民が受講できるよう開催する必要がある。				_	り	ちんカー ニー			
H31完了予定					1:1				

減と処遇改善が図られた.

策が必要である。

次年度

以降の

考え方

(担当課)

が増加した。(9名の増)

の検討が必要である。

次年度

以隆の

考え方

(担当課)

める。

特別報酬を導入するなど消防団員の処遇改善に努めたが、出動手当の見直しなど引続き処遇改善策

・整備計画に基づく車両の更新や団車庫の改築や修繕を行うとともに、引続き個

人装備品の充実を図り消防団員が災害現場で円滑に活動できる環境づくりに努

✓ 維持・改善

□ 廃止検討

□ H30完了

□ H31完了予定

口 拡大

□ 縮小

42_消防本部_6

財務部

査定の

考え方

市長査定

の考え方

☑ 維持·改善

□ 廃止検討

□ H31完了

□ R2完了予定

口 拡大

□ 縮小

積算内容の精査

財務部査定のとおり

81200

・今年度は改選期であり消防団員が減少したと考えられるが、引続き広報活動を含め様々な入団促進対

・消防団員の入団促進、処遇改善等を引き続き実施し、消防団活動の充実を図

主要事業個票(平成31年度決算)

事業名	81200 消防団運営事業費		□ H30新規		H31新規		会計	1	一般会計	担当課	消防本部 消防総務課
尹未石	01200	区分	☐ H30拡充	\checkmark	H31拡充	予算	款	8	消防費	担当床	州财本即 州财松场际
枝番・内容	1 消防団入団促進	四刀	□ その他重要事業	ŧ		了开	項	1	消防費	内線	2119
校田・内谷	一一一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个						目	2	消防団費	作成年月	R2.8

車業の日的。無雨(Disa)

尹未の日 中	Ŋ·佩安(Fian)		
目的	・消防団員の入団促進を図り、消防団体制を充実させ、地域防災力の向上を図る。	概要	・消防団入団促進及び団員確保について取組みを行う(消防団活動に対する意識調査を活用) ・消防団員の装備の充実強化 ・広報活動の充実(フォトコンテスト等) ・機能別消防団員制度の活用 ・消防団応援事業所/消防団協力事業所の活用

[参考] H30	0決算(Do•	Check)	R1.8時点	(千円)
	当初			100
予算額	繰越			
了并识	補正等			
	最終			100
決算	算額			100
対前年度増	減額(決算)			△876

事業実績, 評価等

[事業実績]

・フォトコンテストの優秀作品を活用した入団促進ポスターを700部作製 し、団車庫や市内の主な事業所への掲示を行った。

・平成29年度に実施した消防団意識調査の結果のうち、操法大会など消 防団行事に関する意見を、組織等検討委員会や全支団の役員会で説明 し、団員確保への協力を求めた。

[評価等]

・長期にわたる災害救助活動等に対する特別報酬を新設したほか、出動 手当の見直し等の検討を行った。

・H31年度に岐阜県消防操法大会が高山市で開催されることから、操法 大会等の消防団行事の見直しは、岐阜県消防操法大会終了後に検討す ることが必要である。

・入団促進として、DVDやポスター掲示など広報活動に努めたことによ り、消防団員の増加につながった。(9名の増) 今後も引き続き活動を継続 していく必要がある。

	・出動手当の見直しによる処遇改善を図る。	\square	維持·改善
	・消防団行事の見直しによる団		拡大
次年度以降 の考え方	員の負担軽減を図る。		縮小
(担当課)			廃止検討
			H30完了
			H31完了予定

[参考] H3	1当初予算(Action)	H31.3時点	(千円)
予算額	当初			290
主な経費	・フォトコンテスト ・マグネットシー 広報紙の作成		ステッカー及び女性	生消防団
対前年度増減	額(当初予算)			190

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

3	事業	内容	₹.;	スク	「ジ	ユー	-ル

[事業内容]

- 広報活動の充実
- ・フォトコンテストの実施
- ・公用車等でのマグネットシートにより消防団員募集のPRを行う。
- ・入団促進ステッカーの印刷
- ·女性団員広報誌印刷(年2回)

H31決算(I	Do • Check)	R2.8時点	(千円)
	当初		290
予算額	繰越		
17 异 俄	補正等		
	最終		290
決算	草額		347
対前年度増	減額(決算)		247

事業実績, 評価等

260 予算額 当初 ・入団促准ポスターの作成 主な経費 ・ステッカーの作成 •女性消防団広報紙印刷

(千円)

 Δ 30

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

車業内突	スケジュール

[事業内容]

- 広報活動の充実
- ・フォトコンテスト入選作品によるポスター作製
- ・入団促進ステッカーの印刷

R2当初予算(Action)

対前年度増減額(当初予算)

・女性消防団員広報紙のカラー印刷

[スケジュール]

消防団フォトコンテスト

平成31年4月~令和2年3月 作品募集、審査会、作品展示

・マグネットシートによるPR

平成31年4月~令和2年3月 デザイン決定・発注・納品・掲示

出、市内のショッピングセンターや市役所ホールで展示した。マグネットシート50枚作成し、公用車25台に貼り団員募集のPRを行った。 (2,400枚/回) においている。 (3,400枚/回) においている。 (4,400枚/回) においている。 (4	事業美績」						
女性消防団員の広報紙をカラー印刷し、年2回発行した。(2.400枚/回) 消防団条例の一部改正を行い、出動手当と特別報酬を見直した。 平価等] 複数の支団で操法大会の開催方法が見直され、また出動手当等を見 にたことで消防団員の負担軽減と処遇改善が図られた。 今年度は改選期であり消防団員が減少したと考えられるが、引続き広 混活動を含め様々な入団促進対策が必要である。 ・団員の負担軽減策など引続き 処遇改善に努め団員確保対策 を行う。 ・世別の負担軽減策など引続き 処遇改善に努め団員確保対策 を行う。 ・出 ・ は持・改善 一 拡大 を行う。	肖防団活動フォトコンテストを行い、応募総数70点から入賞作品11点を 出、市内のショッピングセンターや市役所ホールで展示した。 マグネットシート50枚作成し、公用車25台に貼り団員募集のPRを行っ						
で は	女性消防団員						
では、	評価等]						
団員の負担軽減策など引続き 拡大 添し 拡大 添し ボ大 添し ボ大 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボ	複数の支団で操法大会の開催方法が見直され、また出動手当等を見 『したことで消防団員の負担軽減と処遇改善が図られた。 今年度は改選期であり消防団員が減少したと考えられるが、引続き広 R活動を含め様々な入団促進対策が必要である。						
団員の負担軽減策など引続き 拡大 添し 拡大 添し ボ大 添し ボ大 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボ							
団員の負担軽減策など引続き 拡大 添し 拡大 添し ボ大 添し ボ大 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボ							
団員の負担軽減策など引続き 拡大 添し 拡大 添し ボ大 添し ボ大 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボ							
団員の負担軽減策など引続き 拡大 添し 拡大 添し ボ大 添し ボ大 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボ							
団員の負担軽減策など引続き 拡大 添し 拡大 添し ボ大 添し ボ大 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボ							
団員の負担軽減策など引続き 拡大 添し 拡大 添し ボ大 添し ボ大 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボ							
団員の負担軽減策など引続き 拡大 添し 拡大 添し ボ大 添し ボ大 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボ							
団員の負担軽減策など引続き 拡大 添し 拡大 添し ボ大 添し ボ大 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボ							
団員の負担軽減策など引続き 拡大 添し 拡大 添し ボ大 添し ボ大 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ 添し ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボナ ボ		・団員の個人装備の充実 消防		0#++ 7b *			
次年度以降 の考え方 (担当課)		団員の負担軽減策など引続き	_				
(担当課) □ 廃止検討 □ H31完了	次年度以降		_				
				廃止検討			
□ R2完了予定				H31完了			
				R2完了予定			

ı	[スケジュール	
ı	レスク ンユーハ	-

- ポスター作製
- 4月~8月:デザイン決定、印刷、市内掲示
- ステッカー作製
- 8月~10月:印刷
- ·女性消防団広報紙印刷
- 8月·2月 年2回印刷

42_消防本部_7 81200-1

主要事業個票(平成31年度決算)

事業名	81200 消防団運営事業費		□ H30新規	✓ H31新規		会計	- 1	一般会計	担当課	消防本部 消防総務課
尹未石	01200 /1例日建台学术员	□ H30拡充 □ H31拡充		子 質	款	8	消防費	担当床	州例本即 州树杉杨林	
枝番・内容	2 県消防操法大会高山市実行委員会負担金	区刀	□ その他重要事業), 21 -	項	1	消防費	内線	2119
汉田 77日	2 示仿例体体/人式向出巾大门交叉式夹造业					目	2	消防団費	作成年月	R2.8

事業の目的・概要(Plan)

3 717 T P	MAN But Miss to comp							
	・県消防操法大会を高山市で開催し、消防団員の技術向上と士気高揚による消防力の維持向上 を図る。	概要	・平成31年8月4日、飛驒エアパークにて第68回岐阜県消防操法大会を開催する。 (県内の市町村で輪番で開催されており、高山市での開催は30年ぶり)					

[参考] H30	0 決算(Do -	Check)	R1.8時点	(千円
	当初			
予算額	繰越			
了异创	補正等			
	最終			
決算	算額			
対前年度増	減額(決算)			

	事業	実績、評価等	
[事業実績]			
[評価等]			
			維持·改善
次年度以降 の考え方			
(担当課)			
			H30 = 7

□ H31完了予定

[参考] H3	1当初予算(Action)	H31.3時点	(千円)
予算額	当初			22,000
主な経費	・テントの設営 ・観客席用足場 ・駐車場整備	の設営		
対前年度増減	額(当初予算)			22.000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり
事業内容、スケジュール
事業内容]
·第68回岐阜県消防操法大会の開催 開催日:8月4日(日) 開催場所:飛騨エアパーク その他:来場者 約6,500名、バス 約60台、普通車 約1,500台
- 主な会場設営内容 - テント 約110張 - テーブル 約250本 - バイブルす約2,000脚 - 国旗掲揚塔ボール設置(会場に掲揚塔なし) - 仮設トイレ設置 30棟 - 風除タワーや大会名看板設置用足場(高さ5m) - 観客席用足場 - 音響設備(発電機等) - 各機材運搬費用(設置・撤去)
[スケジュール]
平成31年4月~8月 ・岐阜県消防操法大会高山市実行委員会及び専門部会を適宜 開催し、大会の開催準備を進める。 平成31年8月4日(日) ・第68回岐阜県消防操法大会 開催

	H31決算(I	Do • Check)	R2.8時点	(千円)
	当初			22,000
	予算額	繰越		
		補正等		△ 39
		最終		21,961
	決算額			19,303
	対前年度増	減額(決算)		19,303

対前年度増減額(決算)		19,303
事	業実績、評価等	
[事業実績]		
会期:8月4日(日) 会場:飛騨エアパーク 結果:来場者は約6,000名 ハ	、幡班:準優勝、白扌	‡班∶7位入賞
[評価等]		
・来場した市民に、広く消防団・バザー会場では、地元の特・丹生川中学校の生徒が、ご活動に参加し、子どもたちが、次回の高山市での開催は20に対して岐阜県や岐阜県消防みである。	産品のアピールとは み拾い、エイドステー 肖防団活動への理り 0年後の予定である	らもてなしができた。 ーションでのボランティア 解を深める場となった。 が、定点開催など課題
		□ 維持·改善 □ 拡大
次年度以降 の考え方 (担当課)		拡大縮小廃止検討✓ H31完了☐ R2完了予定

R2当初予	算(Action)	(千円)
予算額	当初	0
主な経費		
対前年度増減	額(当初予算)	△ 22.000

	事業内容、スク	「ジュール
[事業内容]		
「サネバロ」		
[スケジュール]		

42_消防本部_8 81200-2

事業シ	・一ト(平成31年度決算)						4	42_消防本部_9									
事業名	81300 消防施設整備事業費	予	計 1 一般会 次 8 消防費				■ 総合計画 ——			がり、安全で美しさと便利さか 情えと災害時の対応強化	が共存する持続可能なまちをつぐ と	る 一 市長公約					
1m v/ =m	W 84 - 48 - W 84 (4) 27 - 50		項 1 消防費				根拠計画	消防計画				17 12 24					
担当課	消防本部 消防総務課 内線 2119		3 消防抗	設質													
1.事業(の目的・概要(Plan)												総合計	画等 主な指標	H30実絹	H31実績 I	R6目標
目的	・老朽化した消防施設を整備し、各種災害に対する消防力の強化と充 の安全・安心の確保を図る。	実を行い、テ			車庫を計画的 施設を計画的												
2事業の	の実施結果等(Do)										(千円)	4 令和	2年度予1	車編成(Action)		(千円
<u></u>					H30				H	31	(111)	7. 13.418	R2予		実施計画額	1	28,300
	歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終	5算	決	算 (a)	当初予算((c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	要	求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d))-(c)
	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\			7,00	0	6,539	58	8,640	54,981	51,897	45,358		33,258	28,300	28,30) 🛆	30,34
	国費()														
特定財源	県費()														
	その他(地方債)			6,000	50	0,000	50,000	36,000	30,000			25,000	25,00	ο Δ	25,000
一般財	源			7,00	0	539	,	8,640	4,981	15,897	15,358	i	33,258	3,300	3,30) 🗘	5,340
個票枝番	主な事業内容											査	定額		説明		
	消防団車庫修繕·撤去等			7,00	0	6,539	ţ	5,500	5,500	14,181	7,642						
© 1	消防団車庫改築						5	3,140	49,481	37,716	37,716		*				
												i					
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合	があります。						l l				※入札に影	響するため公開に	適さないなど、記載省略(※)する場合があります。		
3.平成3	80年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施			_ :	5.平成	31年度	<u>事業実績、</u>	評価等(0	Check) R2	8実施							
事業実績	・消防団車庫の屋根塗装修繕を2ヶ所行った。(上宝支団(一重ヶ根・見・消防団車庫の解体を1ヶ所行った。(久々野支団(坂屋班))	上座))			事業実績	•消防団車	庫の解体を3か	折行った。(荘川		:川支団(牧戸班)) 朝日支団(上ヶ見班)、 ・宮原班))	上宝支団(吉野班))	担当課予算要求ポイント		の整備に必要な経費で の修繕に必要な経費で			
								、旧牧戸駅舎	の資料を展示する	るなど地元住民の活動し	こ配慮した新しい取組						
評価等	・消防団車庫整備は、分団・班の再編状況も踏まえつつ、消防団車両める必要がある。 ・公共施設総合管理計画や消防団車庫整備計画に基づき計画的に整			進 '	評価等	被害を未然 ・団車庫の	:し不要となった消 然に防いだ。	は再編への柔軟		こで、施設の倒壊や破損 設等総合管理計画との		財務部 査定の 考え方	・積算内容の	精査			
以降の 考え方	・消防団車庫解体2か所、朝日支団(上ヶ見)、上宝支団(吉野))、旧物解体。新築1か所(荘川支団(牧戸)) ・屋根塗装2か所(上宝支団(蔵柱・宮原)) ・整備方針に基づき計画的に施設の整備を進める必要がある。	戸駅舎の			次年度 以降の 考え方 (担当課)		施設の整備を進	. తిశి			✓ 維持·改善拡大縮小廃止検討H31完了R2完了予定	市長査定の考え方		のとおり			

主要事業個票(平成31年度決算)

事業名	81300 消防施設整備事業		□ H30新規	☑ H31新規		会計	1	一般会計	担当課	消防本部 消防総務課
尹未石		区分	□ H30拡充	☐ H31拡充	予算	款	8	消防費	担当杯	州则平即 州州市场标
枝番·内容	1 消防団車庫改築	四刀	□ その他重要事業		了升	項	1	消防費	内線	2119
水田 内台	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /					目	3	消防施設費	作成年月	R2.8

事業の目的・概要(Plan)

7 77 77 77	13 Ma > (1 1-1-1)		
目的	・消防団活動の安全と災害時の対応能力を向上させ、市民の安全・安心を確保する。	概要	・消防団車庫を計画的に更新し、地域の防災力を維持する。

[参考] H30)決算(Do-	Check)	R1.8時点	(千円)
	当初			
予算額	繰越			
17 异创	補正等			
	最終			
決算	算額			
対前年度増	減額(決算)			

1当初予算(Action)	H31.3時点	(千円)
当初			53,140
		设	
【額(当初予算)		-	53,140
	当初 ・旧牧戸駅舎の ・荘川支団牧戸	当初 ・旧牧戸駅舎の解体撤去 ・荘川支団牧戸班車庫の新	・旧牧戸駅舎の解体撤去 ・荘川支団牧戸班車庫の新設

	事業	実績、評価等		
			Τп	維持·改善
次年度以降				縮小
の考え方				
(田兴理)				
(担当課)				H30完了

	事業内容、スケジュール	
	の解体撤去 戸班車庫の新設 ニース乾燥柱の設置	
スケジューノ	1	
·平成31年4, 旧牧戸駅舎 ·平成31年8, 荘川支団牧 ·平成32年度	-]~7月 解体	

H31 決算 (I	Oo Check)	R2.8時点	(千円)
	当初		53,140
予算額	繰越		
丁 昇祖	補正等		△ 3,659
	最終		49,481
決算	草額		37,716
対前年度増	減額(決算)		37,716

	事業実績、評価等		
・団車庫の概要 所在地: 荘川 概要: 木造 [評価等] ・牧戸団団車配 ・・投の活動に配り ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	解体し、跡地に荘川支団牧戸班の 町牧戸99-1 平屋建て79.74㎡(車庫、詰所、展 の建設では、旧牧戸駅舎の資料を 記した新しい取組みができた。 状況や組織再編への柔軟な対応 を図りつつ、定期的に見直す必要	示室) ・展示するなと と公共施設等	:"地元住

R2当初予	算(Action)		(千円)
予算額	当初		Ж
主な経費	•消防団車庫建	設・設計委託	
対前年度増減	額(当初予算)		

主な経費	•消防団車庫建	設·設計委託		
対前年度増減	額(当初予算)			
※入札に影響す	「るため公開に適	iさないなど、記載省略(※)する場合あり		
事業内容、スケジュール				
	事業内?	谷、スケジュール		
[事業内容]	事業内3	容、スケシュール		
		谷、スケシュール (荘川支団新渕班)		

[スケジュール] ·4月~ 8月 新渕班団車庫設計 ·9月~12月 新渕班団車庫建設工事

42_消防本部_10 81300-1

口 拡大

□ 縮小

□ 廃止検討

□ H30完了

☐ H31完了予定

次年度

以降の

考え方

(担当課)

計画的な更新整備を図り適正に維持管理する。

画的かつ効率的に進める。

・消防団車両整備は、分団、班の再編成状況を踏まえ、消防団車庫とともに、計

・消防団車両と常備消防車両の更新については、平準化に向けた調整を図る。

次年度

以隆の

考え方

(担当課)

・車両整備計画に基づき、計画的な更新整備を図り適正に維持管理する。

もに、計画的かつ効率的に進める必要がある。

・消防団車両整備については、分団、班の再編成状況を踏まえ、消防団車庫とと

市長査定

の考え方

財務部査定のとおり

口 拡大

□ 縮小

□ 廃止検討

□ H31完了

□ R2完了予定

争業ン	/一ト(平成31年度決算)							42_用防本部_	12							
			会計	1 一般会計			総合計画	ちづくりの方向性 3 人と人がつなか		がり、安全で美しさと便利さた	《共存する持続可能なまちをつく	5				
事業名	81320 消防水利施設整備事業費	予	款	8 消防費			**************************************	まちづくり戦略	(4) 安全への備	えと災害時の対応強化		市長公	·約			
		算	-74	1 消防費			根拠計画	消防計画				11,202	4.5			
担当課	高山消防署 防災課 内線 2117	目	3 消防施設	費												
1.事業	の目的・概要(Plan)												総合	計画等 主な指標	H30実績	H31実績 R6目標
目的	・地震等の災害発生時における消防水利の確保と、避難所等における															
	確保を目的に耐震性の貯水槽を整備し、消防水利の充実と地域の防 る。	化を図		・耐震性貯水槽を整備する。 ・損傷、老朽化がみられる消防水利の改修、修繕												
	・既存の消防水利を適切に維持管理することで、効果的な消防活動が 持し被害を軽減する。	ができるĐ	環境を維			の清掃(土砂除去等)										
	行し恢告を軽減9 る。 															
2.事業	の実施結果等(Do)						_				(千円)	<u>4.令</u>	和2年度予	算編成(Action		(千円
	歳出事業費			H30				H31			I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	R2予算			実施計画額	36,140
	(職員人件費を除く)			最終予算		決算 (a) 34,16	当初予算		最終予算 決算 (b)		增減 (b)-(a)	要求額		財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
					35,499		8	39,700	43,783	43,396	9,228		66,667	36,140	36,140	△ 3,560
	国費 (消防防災施設等整備費1/2)	5	,386	5,38	6	5,386	5,386	5,486	100		5,486	5,486	5,486	100	
特定財源	県費 ()													
	その他(地方債、コミュニティ助成雑入)	14	1,000	17,00	0	12,000	12,000	12,000	△ 5,000			6,000	6,000	△ 6,000
一般財				16,113		11,78	2	22,314	26,397	25,910	14,128		61,181	24,654	24,654	2,340
個票枝番	主な事業内容									査定額			説明			
	耐震性貯水槽更新、防火水槽解体		18,000 17,985		5	20,200	23,859	23,821	5,836	× m		耐震性貯水槽更新2基、撤去3基				
	自主防災組織小型動力ポンプ等購入		2,199 2,117		7	4,000	4,500	4,352	2,235		*	小型動力ポンプ4台				
	水利施設の維持管理等		15,300 14,066		6	15,500	15,424	15,223	1,157		13,240					
							1									
	 ※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合	合がありま	す。					l				※入札に	影響するため公開	 開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。	
3.平成	30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施			\downarrow	- 1	5.平成31年度	事業実績	、評価等(Check) R2	.8実施	. ↓					
				·	7 i l				· · · ·	–						
				1												
			(5.17)				'									
	・耐震性貯水槽整備計画に基づき、既存防火水槽から耐震性貯水槽朝日)	* 成行防火			5火水槽から耐震性貯水槽へ2基 更新を行った。(久々野、上宝)					担当語						
事業実績	・防火水槽の漏水、水槽本体及びフェンス等の破損を6基修繕した。	事業実績・防火水槽の漏水、水槽本体及びフェンス等の破損を5基修繕した。 ・防火水槽の清掃を3基行った。(土砂除去等による環境改善と水量維持)							ポイント 「パス性の液化体主と過止能量に必要な性質を引工							
	・防火水槽の清掃を4基行った。(土砂除去等による環境改善と水量約		1													
評価等	・非耐震性の防火水槽を耐震性貯水槽に更新することで、消防体制の	地域の防	災力強化を図るこ				g性の防火水槽を耐震性貯水槽に更新することで、消防体制の充実と地域の防災力強化を図るこ									
	とができた。 ・消防水利を適正に維持管理することで、災害による被害を軽減する	きた。				とができた。 ・消防水利を適正に維持管理することで、災害による被害を軽減することができた。						部				
		1 1								査定の考える		容の精査				
			維持·改善	┨┆┃			✓ 維持·改			☑ 維持·改善						
'h /= -				拡大	i	次年度										
次年度 以降の	・耐震性貯水槽整備計画に基づき、引き続き老朽化した防火水槽を耐槽に更新し、震災時にも使用可能な消防水利を確保する。	'水 □	縮小		以降のおおお	引き続き老朽化した防火水槽を耐震性貯水槽に更新し、震災 消防水利を確保する。			震災時にも使用可能	□ 縮小	+ = *	.				
考え方 (担当課)	信に更新し、展及時にも使用可能な用防水利を確保する。 ・コスト縮減を図りながら、消防水利の適正な維持管理を実施する。			廃止検討	[i]		・コスト縮減を図りながら、消防水利の適正な維持管理を実施する。 □ □ 廃止検討				_	市長査の考え		定のとおり		
(J IM)				H30完了							☐ H31完了					
				H31完了予定	J i J						□ R2完了予定					

事業シート(平成31年度決算) 42.河吻本部 13																
会計				1 一般会計			まちづくりの方向性 3 人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる 総合計画									
事業名		予款	8 消防費			まちづくり	ちづくり戦略 (4) 安全への備えと災害時の対応強化		3	市長公約						
		算 項	1 消防費			消防: 根拠計画	消防計画									
担当課	消防総務課·警防課·防災課·救急課 内線 2119	3 消防施	設費		代拠計画											
1.事業(D目的・概要(Plan)										総合計	十画等 主な指標	H	30実績 H31実	績 R6目標	
										「消防・救	急体制が整っ	ている」と感じている市」	民の割合 8	2.6% 78.09	. 7	
	・消防資器材及び初期消火資器材については、経年劣化した資器材の引	更新を適正に	-1	・計画的に資器材を整備し、有効活用することで、総合的な消防力の向上を図る。												
目的	行い、迅速かつ的確な消防活動を実施し、市民生活の安全を確保する。 ・自主防災組織の育成、組織の強化を図る。			(資器材の更新及び修繕												
	・日土防災組織の育成、組織の強化を図る。			日土防災	組織の訓練指導											
2.事業(D実施結果等(Do)			(千円)								算編成(Action	実施計画	-	(千円)	
华山市坐			H30 最終予算 決算 (a)			H31					R2予算				18,110	
	歳出事業費 (職員人件費を除く)				決算 (a)	当初予算(c)	最終予算 決算 (b)		増減 (b)-(a)	要	求額	財務部査定額 市長査知			增減 (d)-(c)	
				23,100	21,931	28,630	36,906	36,715	14,784		41,620	18,110	1	8,110	△ 10,520	
	国費 (消防資器材整備事業費1/3)					2,900	3,005	3,005		4,906	1,200		1,200	1,200	
特定財源	県費 (消防施設等整備事業費			290												
	その他(コミュニティ助成雑入、消防団安全装備品整備等助成	,	1	800				993	193		900	0		0	0	
													U			
一般財	原	22,300		20,841	28,630	34,006	32,717	11,586		35,814	16,910		16,910 \triangle 11,			
個票枝番	主な事業内容								査	定額		説明				
	消防資器材の整備		17,300	17,031	18,530	18,106	20,178	3,147		9,010						
	消防団装備品		4,300	4,306	10.100	18,800	16,537	12,231		9.100	簡易デジタル無線機他					
				1.500 594		,	,	,	△ 594		-,					
	初期消火資器材格納箱の色彩変更(赤色→茶色)			1,500	394				△ 394							
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合が							※入札に影	響するため公開	に適さないなど、記載省略(※)する場合があり	ます。				
	0年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施	.,,,,,	▼ 5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施 ▼						71.0 11.01 = 2.0			,		1		
3.十八0	0千及爭未失稱、計圖寺(Uneck) R1.0失心			ק†.	3.干灰31干及=	<u> </u>	₹ (Oneck) Rz	.0天心								
	・常備消防上下式防火衣8着を更新整備した。				・常備消防上下式防火衣8着を更新整備した。											
	・救命講習用訓練人形・AEDトレーナーを整備した。					資器材として、救助用バット整備した。	ールを34本、ファースト	レスポンダージャッキを	9台、樹脂製クリビング							
	・初期消火資器材として、格納箱26基、ホース54本を更新整備した。 ・消防ホース(常備、団)90本を更新整備した。	・ 救助訓練用安全マットを2個、空気呼吸器を3セット、個人携帯警報器を18器整備した。						iした。	担当課	担当課・消防防災体制の充実を図るための消防資器材の計画的な整備に必要な経費を						
事業実績	・消防団員用の救命胴衣を165着整備した。		・消防用ホース(常偏分)16本を更新整備した。 事業実績 ・消防団震災対応資器材(チェン)←、エジンカット、保護具)を38セット新規整備した。 ・消防団用に簡易デジタル無線機56機を整備した。							計上						
学术 大概	・県操法大会応援用のぼり旗1基を整備した。 ・消防団の消火用資器材(吸管、操法用ホース等)を更新整備した。									を計上						
	・水害用救助胴長を10着整備した。	・消防団用にヘッドライト1.450個を整備した。 ・消防ホース(常備、団)98本を更新整備した。														
	・景観重点区域及び市街地景観保存区域の格納箱80基を塗装した。			*												
	・特殊及告員命材(レスイュー)ー・レジプロノー・救助用文件等)を電調	・特殊災害資器材(レスキューソー・レシプロソー・救助用支柱等)を整備した。				・救命講習用訓練人形、AEDトレーナーを整備した。										
			- 1													
	・消防資器材を計画的に更新し、消防活動の安全確保、現場対応力の残	・特殊災害、水害救助用資器材を整備し、地震、噴火等災害発生時の現場対応力の強化が図られた。											i			
評価等	・老朽化した初期消火資器材を更新し、自主防災組織活動の安全確保し															
計画寺	・消防団員への安全装備品の整備により、団員の安全管理及び現場対け・特殊災害、水害救助用資器材を整備し、地震、噴火等災害発生時の現場	図られた。				財務部	査定の ・									
	- 何外火台、小台秋明用貝都何を歪開し、地展、境人等火台尤工時の切	能化が図られた。 □ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■										登定の考え方				
		/ 維持·改善	+													
	・更新整備した資器材を有効活用することにより総合的な消防力の向上	維持・以普 拡大		. 南轮刺烘	ばいます。											
次年度 以降の	・老朽化した初期消火資器材の適切な更新を進め、自主防災組織による	1/4人		火年度 ・老朽化した	更新登偏した資益材を有効活用することにより総合的な用助力の同上を図る。											
去っち	安全を確保する。				安全を確保する。 考え方 ・当昨日島の安全特件日は、計画的な数件とサに国の補助会等を活用し終表の				□ 廃止検討					市長査定		
(知兴理)	・消防団活動に必要な資益材については、火災だけではなく地震、風水 らゆる災害に対応可能な資器材の整備を検討する必要がある。	廃止検討 H30完了		(坦兴理) 門的四貝	・消防団貝の安全装備品は、計画的な整備と共に国の補助金寺を活用し経貨の					考え方						
			H31完了予定						□ R2完了予定							